
Linux版ESMPRO/ServerAgent Ver4.2

修正モジュール適用方法について

Linux版ESMPRO/ServerAgent Ver4.2 の修正モジュール(以下「本ソフトウェア」といいます。)の適用方法について説明します。

【修正内容】

本ソフトウェアは、以下の問題を吸収しました。

- 1) 以下のイベントが発生した場合に、エクスプレス通報が行われない。
Source : ESMCommonService
EventID: 0x800002C4
- 2) ネットワークの回線障害や回線高負荷の通報が誤って行われる可能性がある。

【適用環境】

本ソフトウェアは、以下の環境のみに適用してください。

- ・ HW 情報 :
NX7700iシリーズ
3012L-2, 3012E-2, 3010L-4, 3020M-8, 3040M-16, 3040H-16, 3080H-32
- ・ SW 情報 :
ESMPRO/ServerAgent Ver4.2 (詳細バージョン 4.2.2-1)

ESMPRO/ServerAgentの詳細バージョンは以下のコマンドで確認して下さい。

```
> rpm -qa | grep Esmpro-common
```

以下のように表示された場合は適用対象バージョンとなります。

```
Esmpro-common-4.2.2-1
```

【モジュール一覧】

モジュール名	サイズ
esmsaupdate.tgz	49,447byte

【適用手順】

以下の手順で、本ソフトウェアを適用してください。

1. root でlogin してください。
2. 本ソフトウェアを任意のディレクトリにコピーしてください。
(ここでは、コピー先を /tmp として説明します。)
3. /tmpに移動し、本ソフトウェアを解凍してください。

```
> cd /tmp  
> tar -zxvf esmsaupdate.tgz
```
4. 解凍時に作成される updateディレクトリに移動してください。

```
> cd update
```
5. “./esmup -u”を実行して本ソフトウェアを適用してください。

```
> ./esmup -u
```
6. 「Update: successfully.」と表示されて、適用完了です。
サーバの再起動を実施してください。

【確認方法】

適用後、以下のファイルのサイズを確認してください。

1. /opt/nec/esmpro_sa/binディレクトリ配下
2006/05/19 14:51 104,168 ESMlan
2. /opt/nec/esmpro_sa/libディレクトリ配下
2006/05/19 14:51 40,476 ethermib.dll

【補足】

1. 本ソフトウェアを適用後、万が一何らか別の問題が発生した場合、以下の手順により元の環境に戻して頂くことが可能です。

1. root でlogin してください。
2. 本ソフトウェアを任意のディレクトリにコピーしてください。
(ここでは、コピー先を /tmp として説明します。)
3. /tmpに移動し、本ソフトウェアを解凍してください。
> cd /tmp
> tar -zxvf esmsaupdate.tgz
5. 解凍時に作成される updateディレクトリに移動して、"esmup -r"を実行して本ソフトウェアを適用してください。
> cd update
> ./esmup -r
6. 「Recover: successfully.」と表示されて、適用完了です。
サーバの再起動を実施してください。

以上